

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成26年2月14日

【四半期会計期間】 第54期第3四半期(自平成25年10月1日至平成25年12月31日)

【会社名】 鈴茂器工株式会社

【英訳名】 Suzumo Machinery Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 小根田育治

【本店の所在の場所】 東京都練馬区豊玉北二丁目23番2号

【電話番号】 03(3993)1371

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理本部長 鈴木美奈子

【最寄りの連絡場所】 東京都練馬区豊玉北二丁目23番2号

【電話番号】 03(3993)1371

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理本部長 鈴木美奈子

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第53期 第3四半期 連結累計期間	第54期 第3四半期 連結累計期間	第53期
会計期間		自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日	自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高	(千円)	5,460,946	5,524,314	7,149,625
経常利益	(千円)	818,994	843,145	969,451
四半期(当期)純利益	(千円)	488,322	497,485	598,651
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	489,724	504,954	604,764
純資産額	(千円)	6,547,840	7,168,675	6,662,879
総資産額	(千円)	7,888,072	8,965,252	8,066,755
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	82.05	82.49	100.58
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)		81.80	
自己資本比率	(%)	83.0	80.0	82.6

回次		第53期 第3四半期 連結会計期間	第54期 第3四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日	自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	39.19	35.95

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 平成25年4月1日付けで普通株式1株につき1.2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。
- 4 第53期第3四半期連結累計期間および第53期連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、新株予約権方式のストックオプション制度を導入しておりますが、期中平均株価が権利行使価格を下回るため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間における経済環境につきましては、政府政策の推進により株価の上昇や円安による輸出環境の改善により一部景気回復の動きが見られましたが、消費税増税に伴う消費者への影響も懸念され依然として不透明な状況で推移してまいりました。

外食産業につきましては、景気回復による消費マインドの改善が一部見られるものの、消費税引き上げによる懸念から本格的な個人消費の回復には至らず、引き続き節約志向が強い厳しい状況が続いております。

このような情勢の中、当社グループとしては、お客様の声を大切にしながらニーズに合った製品をお届けするために高付加価値製品の開発に取り組むと共に、「日本国際包装機械展」への参加や当社独自の展示会「スズモフェア」を北海道にて開催いたしました。

販売状況につきましては、主力製品である店舗向け小型ロボットを中心に、大型機のお客様にも満足していただくための営業活動を展開してまいりました。海外につきましては、イタリア、ブラジルの大規模な展示会に自社参加すると共にアジア、オセアニアの展示会にも参加し、各国によって異なる寿司文化の浸透度を理解した上での活発な営業活動をいたしました。また、子会社の株式会社セハー・ジャパンについては、ノロウイルス予防に有効であるセハノールSS-1をメインに、アルコール系洗浄剤・除菌剤や離型油等の販売拡大を積極的に展開いたしました。

このような結果、当第3四半期連結累計期間における売上高合計は55億24百万円(前年同期比1.2%増)となりました。また、利益につきましては、営業利益8億39百万円(前年同期比3.5%増)、経常利益8億43百万円(前年同期比2.9%増)、四半期純利益4億97百万円(前年同期比1.9%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(米飯加工機械関連事業)

米飯加工機械関連事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は50億89百万円(前年同期比0.9%増)、営業利益は8億27百万円(前年同期比4.0%増)となりました。

(衛生資材関連事業)

衛生資材関連事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は4億34百万円(前年同期比4.6%増)、営業利益は12百万円(前年同期比42.6%減)となりました。

(2)財政状態の分析

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ8億98百万円増加し89億65百万円となりました。これは主に、有形固定資産が4億5百万円、たな卸資産が2億76百万円、現金及び預金が1億11百万円増加したことなどによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ3億92百万円増加し17億96百万円となりました。これは主に、未払法人税等が96百万円、賞与引当金が58百万円減少した一方で、短期借入金が4億円、買掛金が1億31百万円増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ5億5百万円増加し71億68百万円となりました。これは主に、ストックオプションの行使により資本金が38百万円、資本剰余金が38百万円増加したこと、利益剰余金が配当金の支払74百万円により減少したこと、および四半期純利益により4億97百万円増加したことなどによるものであります。

(3)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4)研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は44百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	16,000,000
計	16,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成26年2月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	6,048,000	6,048,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	完全議決権株式であり、権利 内容に何ら限定のない当社に おける標準となる株式 単元株式数は100株であります
計	6,048,000	6,048,000		

(注) 提出日現在の発行数には、平成26年2月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は、含まれておりません。

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年12月31日		6,048		609		438

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末現在の議決権の状況については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができませんので、直前の基準日である平成25年9月30日現在の株主名簿により記載しております。

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,300		
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,010,400	60,104	
単元未満株式	普通株式 36,300		
発行済株式総数	6,048,000		
総株主の議決権		60,104	

(注) 上記「単元未満株式」には当社所有の自己株式61株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 鈴茂器工株式会社	東京都練馬区豊玉北 2 - 23 - 2	1,300		1,300	0.0
計		1,300		1,300	0.0

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、優成監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,831,195	2,943,088
受取手形及び売掛金	1,113,201	1,207,423
たな卸資産	973,647	1,250,602
繰延税金資産	95,606	95,564
その他	31,071	37,591
貸倒引当金	167	124
流動資産合計	5,044,555	5,534,146
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,213,949	1,176,347
土地	983,856	983,856
その他(純額)	127,807	571,147
有形固定資産合計	2,325,613	2,731,351
無形固定資産	29,827	25,007
投資その他の資産		
投資有価証券	366,159	381,206
繰延税金資産	145,848	141,712
その他	168,307	164,894
貸倒引当金	13,556	13,066
投資その他の資産合計	666,759	674,746
固定資産合計	3,022,200	3,431,106
資産合計	8,066,755	8,965,252
負債の部		
流動負債		
買掛金	274,937	406,423
短期借入金	-	400,000
未払法人税等	254,874	158,763
賞与引当金	125,551	66,806
その他	276,714	279,705
流動負債合計	932,078	1,311,698
固定負債		
退職給付引当金	328,097	359,314
役員退職慰労引当金	8,518	10,618
その他	135,181	114,944
固定負債合計	471,797	484,878
負債合計	1,403,876	1,796,576
純資産の部		
株主資本		
資本金	571,200	609,696
資本剰余金	399,850	438,250
利益剰余金	5,664,047	6,087,134
自己株式	89	1,746
株主資本合計	6,635,007	7,133,334
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,871	35,340

その他の包括利益累計額合計	27,871	35,340
純資産合計	6,662,879	7,168,675
負債純資産合計	8,066,755	8,965,252

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	5,460,946	5,524,314
売上原価	3,031,549	2,990,181
売上総利益	2,429,396	2,534,133
販売費及び一般管理費	1,618,575	1,694,836
営業利益	810,820	839,296
営業外収益		
受取利息	2,838	2,241
受取配当金	1,677	1,416
助成金収入	2,681	2,700
その他	4,247	2,015
営業外収益合計	11,444	8,372
営業外費用		
支払利息	438	849
手形売却損	190	192
売上割引	2,637	2,988
その他	4	493
営業外費用合計	3,270	4,524
経常利益	818,994	843,145
特別利益		
有形固定資産売却益	-	366
特別利益合計	-	366
特別損失		
有形固定資産除却損	696	-
特別損失合計	696	-
税金等調整前四半期純利益	818,297	843,512
法人税等	329,975	346,027
少数株主損益調整前四半期純利益	488,322	497,485
四半期純利益	488,322	497,485

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	488,322	497,485
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,402	7,468
その他の包括利益合計	1,402	7,468
四半期包括利益	489,724	504,954
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	489,724	504,954

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
税金費用の計算	当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、法定実効税率を使用しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 偶発債務

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対して、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
北海道鈴茂販売(株)	7,280千円	北海道鈴茂販売(株) 5,120千円

2 受取手形割引高及び受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
受取手形割引高	千円	21,523千円
受取手形裏書譲渡高	174,035 "	159,272 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
減価償却費	111,446千円	112,093千円
のれんの償却額	5,596 "	"

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	74,397	15	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	74,397	15	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	米飯加工機械 関連事業	衛生資材 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,045,520	415,426	5,460,946		5,460,946
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	5,045,520	415,426	5,460,946		5,460,946
セグメント利益	795,197	21,220	816,417	5,596	810,820

(注)1 セグメント利益の調整額 5,596千円は、のれん償却額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	米飯加工機械 関連事業	衛生資材 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,089,752	434,562	5,524,314		5,524,314
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	5,089,752	434,562	5,524,314		5,524,314
セグメント利益	827,123	12,173	839,296		839,296

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	82円05銭	82円49銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	488,322	497,485
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	488,322	497,485
普通株式の期中平均株式数(株)	5,951,813	6,030,989
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額		81円80銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株)		50,917
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(注) 1 当社は、平成25年4月1日付けで普通株式1株につき普通株式1.2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

2 前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、新株予約権方式のストックオプション制度を導入しておりますが、期中平均株価が権利行使価格を下回るので記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月6日

鈴茂器工株式会社
取締役会 御中

優成監査法人

指定社員 業務執行社員	公認会計士	渡邊 芳樹	印
指定社員 業務執行社員	公認会計士	鶴見 寛	印
指定社員 業務執行社員	公認会計士	陶江 徹	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている鈴茂器工株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、鈴茂器工株式会社及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。